

## ■ 設 立 趣 旨 書

### 1 趣 旨

現代社会に於いて、私達の身の回りには様々な問題が山積しています。一つには、環境の問題が上げられ、森林伐採による二酸化炭素濃度の上昇、地球温暖化等、今人類にとって、切迫した問題であります。

又、この身体についてみたとき、現代病といわれる、ガン、心臓疾患、糖尿病、高血圧、脳卒中、昨今では、メタボリックシンドローム等、多くの病に、現代人は苦しんでいます。

又、精神について見たとき、ストレス社会によって、精神疾患が増え、世の中には鬱病患者が多発し、鬱による自殺者も増加する一方、精神不安定による犯罪も増加傾向にあります。

ですから人々には、多くの苦悩や煩い病が起こっており、又、世の中の禍いや争いを眺めてみると、その状況は実に複雑であります。

しかし、それらの状況を分析し、正しく物事を眺めてみれば、全ては只一本の糸が絡んでいるような物に過ぎません。その緒を見つければ、跡形もなかったようにあらゆる問題は、尽く消えていくであります。

そこでNPO・アイシス・ジャパンでは、その緒を生活様式の改革、特に食文化の改善にあると考えました。

たとえば、日本の伝統的な食文化、米・穀類、野菜を中心とした食文化（以下、穀菜食）に切り替える事で、現代病の大半は抑止でき、人々は自然に健康を回復します。その抑止効果に伴い、国家の医療費削減に寄与することが出来ます。

又、現在切迫している環境問題、地球温暖化の一番の原因となる森林伐採も、その一番の原因は、食肉による過放牧にあり、一秒間に4エーカー程が消失しているといわれます。そこで、食肉に変わる代替食品、穀菜食を世の中に普及させることにより、森林伐採を抑制することが出来ます。それによって、放牧地を森林にもどし、家畜飼料にしていた穀物を人々に与えること

によって、二酸化炭素濃度の削減、地球温暖化に寄与するだけでなく、地球の食糧問題までも、改善されていくと考えます。

又、穀菜食は、精神を健全にする効果もあります。例えば、北米では青少年の犯罪者更生プログラムの中に、穀物・野菜中心の食事を取り入れ、実際に効果をあげています。このように穀菜食には、精神を健全にする作用もあり、現在のストレス社会に負けない、精神づくりにも、その効果はおおきいと考えます。これによって、鬱を抑制し、自殺者を減少させ、犯罪の抑止効果に寄与できると考えます。

このように、穀菜食・代替食品の潜在的効果は大きく、毎日の食事メニューを少し切り替える、簡単な行動だけで、お年寄りから子供まで多くの方が、誰でも・簡単に・家に居ながらにして、地球に良く、健康に良く、精神に良い、社会貢献活動ができるよう、啓発・普及・支援・情報提供するために、NPO ボランティアグループを立ち上げました。